

広島市水道事業中期経営計画に係る実績について 平成27年度(2015年度)

1 はじめに

広島市水道事業中期経営計画(以下「中期経営計画」)は、平成26年度(2014年度)～平成29年度(2017年度)における具体的な事業運営の内容を取りまとめたものです。

この度、中期経営計画に掲げる主要施策、経営の効率化、財政収支計画などについて、平成27年度(2015年度)の実績を取りまとめました。

2 主要施策

本市水道事業では、「安全でおいしい水の供給」、「基幹施設の更新・改良」、「災害対策の充実」を主要施策として掲げ、計画的な施設整備を推進しています。

中期経営計画期間4か年の計画額361億3,065万円に対して、平成27年度(2015年度)の実績は62億4,098万円、平成26年度(2014年度)から平成27年度(2015年度)までの累計額は118億7,994万円であり、進捗率は32.9パーセントとなっています。

主な施設整備の内容は、次のとおりです。

(1) 安全でおいしい水の供給

水道水源の保全として水源涵養林の整備や啓発活動を行うとともに、環境負荷の低減として漏水防止調査等を行いました。

また、水質管理体制の強化として水質検査機器、残留塩素計の整備及び湯来地区簡易水道事業の再編成等を行うとともに、安心な水道の普及促進として3,687メートルの配水管布設を行いました。

(2) 基幹施設の更新・改良

取水・浄水・配水施設の更新・改良として施設の統廃合の関連整備や排泥池の整備等を行いました。

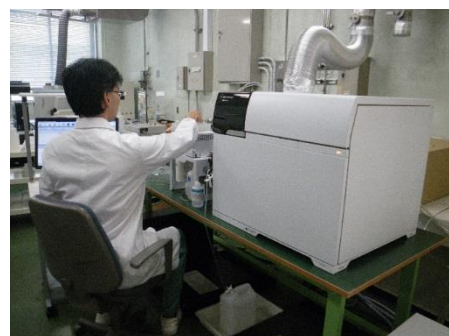
また、配水管路の更新として、配水管の折損事故等を未然に防止するため、25,500メートルの鋳鉄管・ビニル管等の更新を行いました。

(3) 災害対策の充実

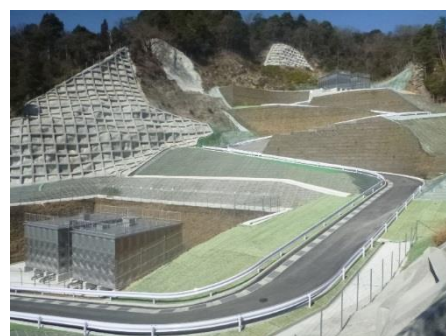
施設の耐震化として配水池の耐震改修等を行うとともに、バックアップ機能の強化として相互連絡管の整備等を行いました。

また、応急給水対策の推進として緊急時給水車専用水栓等の応急給水用資器材の整備を行いました。

【水質検査機器の整備
 (誘導結合プラズマ質量分析計)】



【施設の統廃合(府中北調整池)】



【応急給水対策の推進
 (緊急時給水車専用水栓)】



3 経営の効率化

平成27年度(2015年度)の実績は3億8,345万円であり、取組内容は下表のとおりです。

なお、平成26年度(2014年度)から平成27年度(2015年度)までの累計額は9億6,255万円であり、中期経営計画期間4か年の削減額等20億4,833万円に対する進捗率は47.0パーセントとなっています。

| 項 目 | 削減額等 (平成27年度) | 主な内容 |
|---------------|------------------|---------------------|
| 1 人件費の削減 | 億 万円 5014 | 事務事業の見直しによる職員数の削減 |
| 2 経費の削減・収入の確保 | 3 3331 | |
| (1) 工事費の削減 | 7568 | 管路のダウンサイジング(減口径) |
| (2) 維持管理費の削減 | 2 4527 | 受水量の見直し、督促徴収業務の見直し等 |
| (3) 収入の確保 | 1236 | 未利用地の売却 |
| 合 計 | 3 8345 | |

4 財政収支計画

平成27年度(2015年度)について、財政収支計画と決算額の比較は下表のとおりです。

今後とも、財政収支計画の執行管理を徹底することで、平成29年度末(2017年度末)に予定する資金残高約41億円を確保し、計画的な事業経営を推進していきます。

| 区 分 | 平成27年度 | | | | 差引増(△)減 (A) - (B) |
|--------------|------------------|------------|------------------|------------|----------------------|
| | 財政収支計画 | | 決算額 | | |
| | 事業費(A) | 構成比 | 事業費(B) | 構成比 | |
| 収益的収入 | 億 万円 253 3686 | % 100.0 | 億 万円 258 4150 | % 100.0 | 億 万円 △ 5 0464 |
| 給水収益 | 200 1797 | 79.0 | 206 7452 | 80.0 | △ 6 5655 |
| その他 | 53 1889 | 21.0 | 51 6698 | 20.0 | 1 5191 |
| 収益的支出 | 233 6493 | 100.0 | 235 4622 | 100.0 | △ 1 8129 |
| 人件費 | 49 4585 | 21.2 | 49 1192 | 20.9 | 3393 |
| 維持管理費 | 84 8661 | 36.3 | 87 3201 | 37.1 | △ 2 4540 |
| 減価償却費 | 81 0438 | 34.7 | 81 7552 | 34.7 | △ 7114 |
| 支払利息 | 18 2809 | 7.8 | 17 2677 | 7.3 | 1 0132 |
| 収益的収支差引(純損益) | 19 7193 | — | 22 9528 | — | △ 3 2335 |
| 資本的収入 | 億 万円 66 3760 | % 100.0 | 億 万円 41 1220 | % 100.0 | 億 万円 25 2540 |
| 企業債 | 56 0900 | 84.5 | 35 4500 | 86.2 | 20 6400 |
| その他 | 10 2860 | 15.5 | 5 6720 | 13.8 | 4 6140 |
| 資本的支出 | 157 3816 | 100.0 | 122 5896 | 100.0 | 34 7920 |
| 建設改良費等 | 98 2428 | 62.4 | 63 9615 | 52.2 | 34 2813 |
| 元金償還金 | 59 1388 | 37.6 | 58 6281 | 47.8 | 5107 |
| 資本的収支差引 | △ 91 0056 | — | △ 81 4676 | — | △ 9 5380 |
| 損益勘定留保資金等 | 66 0754 | — | 64 3498 | — | 1 7256 |
| 利益剰余金 | 24 9302 | — | 17 1178 | — | 7 8124 |
| 資金残高 | 億 万円 51 4342 | % — | 億 万円 71 3138 | % — | 億 万円 △ 19 8796 |
| 企業債残高 | 億 万円 814 0130 | % — | 億 万円 764 8137 | % — | 億 万円 49 1993 |

5 目標管理

平成27年度末(2015年度末)における目標管理の達成状況は、下表のとおりです。

引き続き、中期経営計画に掲げる取組を着実に実施することで、目標の達成に向けて取り組んでいきます。

| 項 目 | 算定方法等 | 平成27年度末【実績】 (2015年度末) | 平成29年度末【目標】 (2017年度末) |
|-------------------------------------|---------------------------------------|--------------------------|--------------------------|
| 1 安全でおいしい水の供給 | | | |
| 水質基準適合率 | 水質基準適合回数 ÷全検査回数×100 | 100.0% | 100.0% |
| 普及率 (水道施設整備率) | 給水人口(給水可能人口) ÷給水区域内人口×100 | 98.0% (99.6%) | 98.0% (99.6%) |
| 2 基幹施設の更新・改良 | | | |
| 施設の更新か所数 | 中期経営計画期間に更新 が完了した施設のか所数 | 1か所 | 14か所 |
| 管路の更新延長数 | 中期経営計画期間に更新 が完了した管路の延長数 | 52km (平均26km/年) | 104km (平均26km/年) |
| 3 災害対策の充実 | | | |
| 配水池の耐震化率 | 耐震対策を施した配水池 容量÷配水池総容量×100 | 70.9% | 59.9% |
| 管路の耐震化率 | 耐震管延長÷管路総延長 ×100 | 25.1% | 27.4% |
| 4 財務体質の強化 | | | |
| 企業債残高 | 年度末の企業債残高 | 765億円 | 811億円 |
| 料金収納率 | 年度末の収入金額 ÷年度末の調定金額×100 | 97.8% | 97.8% |
| 5 環境にやさしい水道の推進 | | | |
| 再生可能エネルギー によるCO ₂ 削減量 | 再生可能エネルギー発電量 ×CO ₂ 排出係数 | 0.2t/年 | 550.0t/年 |
| 漏水率 | 年間漏水量÷年間給水量 ×100 | 3.1% | 2.6% |